



こんにちは、まちかど図書館ぼたんです！日頃より図書館をご利用いただいている皆様には心より感謝申し上げます。

さて、2月11、12日に2、3年生と先生、3期生元ゼミ長の佐賀先輩（現富山県庁職員）と総勢18名で金沢にてフィールドワークを行いました。金沢学生のまち市民交流館で、金沢大学の眞鍋・田邊両先生から金沢市の町会について学び、金沢市の石引商店街にあるみんとしよ「Commyunity & Libraryコトノハ」でお話をお聞きし、石川県立図書館、加賀市の「おんせん図書館みかん」では、オーナー様の太極拳入門にも参加しました。フィールドワークで得られた知見をまちかど図書館ぼたんの運営に活かしていきたいと思えます。

今月のニュースレターは、1月の座談会の様子を中心に、図書館の活動をお届けいたします！

## Topic 01 第14回イベントを開催しました！

### イベントスケジュール 【10:00～12:00】

#### 【前半】犯罪被害者についてのお話

- ・犯罪被害者当事者の経験から大塚さんのお話
- ・犯罪被害者支援センターについて

#### 【後半】座談会

前半にお聞きしたことを受けて参加者で感想や意見交換をしました。

2026年1月24日(土)に、第14回目となるイベントを行いました。今回のスピーカーは、認定NPO法人長野被害者支援センターの大塚清美さんで「被害者の声に心を寄せて ～母子の満面の笑み、何処へ～」をテーマにお話をしてくださいました。当日はオーナーの攪上さん、坂田さん、利用者の金子さん、長野被害者支援センター長の油井さん、犯罪被害者相談員の小山さん、信濃毎日新聞記者の宍（いなづか）さん、まちづくり長野の宮島さん、築山ゼミ生の小栗、小山、神田、西川、中村（次期2年生）、そして築山教授の計14名での開催となりました。

### 今回ゲストスピーカーを務めていただいた 大塚 清美さんについて

悪質な飲酒運転事故で息子を亡くした経験から、同じ犯罪被害者遺族と出会い前向きになれたことをきっかけに自助グループ「つむぐ」を発足。そこでは年に4回犯罪被害者遺族が語り合う会を開いている。また、認定NPO法人長野犯罪被害者支援センターにおいて被害者の相談など支援事業員としても活動をされています。

こちらのQRコードでは今回のイベントでスピーカーを務めてくださった大塚清美さんの手記についてご紹介しています。➡



## 【犯罪被害当事者としての大塚さんのお話】

今回の座談会では理不尽に奪われた命がどれだけ大切だったのか、犯罪被害者、その遺族が安心して生活を営む権利が保障される社会になるにはどうすればよいのかを考えるきっかけになればという大塚さんの思いを前提にお話をいただきました。また、今回のイベントが決まった当初から「堅苦しいテーマになりがちだけれども命の大切さや生き方に重きを置き、なるべくポジティブな雰囲気です座談会を行いたい」という気持ちを大切にされていました。

お話の中では幸せの絶頂の中で息子を失った精神的なダメージの大きさを計り知れなさやその中でも社会との関わりを保っていくことの大切さ、日常生活における変化、裁判を進めるうえで遺族に対する支援の不十分さ、行政など社会全体で被害者支援をしていくことの大切さ、犯罪被害者の方との接し方などについてお話いただきました。

犯罪被害者支援について長野県では高森町で犯罪被害者支援条例が可決されるなど整備は進められてきているが制度を整えて終わりではなくそれらの制度を周知していくこと、行政において住民に一番近い市町村が支援を強化していくことが被害者が回復をしていく近道であるということをお聞きしました。

また、現在刑法の認知件数において犯罪被害に遭う確率としては交通事故などを抜いて167人に一人が犯罪被害に遭っているということを知り、犯罪被害は自分が思っているよりもっと身近なものであるという印象を受けました。

座談会の終盤では福井被害者支援センターのホームページ掲載の「こころの声」という曲をYoutubeで流していただきました。この曲は大塚さんが中学生向けに話をする機会に和やかな気持ちで帰ってもらえるようによく講話の最後に流しているそうです。穏やかな雰囲気の曲で心が安らぐような気持ちになれました♪

ふくい犯罪被害者等支援のうた「こころの声」

<https://www.fvsc.jp/info/song.html>



## 【全国被害者支援ネットワーク広報物】

### 犯罪被害者の声



犯罪被害者・遺族の方々による手記集  
「犯罪被害者の声」

<https://www.nnvs.org/category/hvoice/>



中学生・高校生・一般対象 マンガ冊子  
「こんなときどうする？」

[https://www.nnvs.org/wpcontent/uploads/2021/11/manga\\_nnvs2021.pdf](https://www.nnvs.org/wpcontent/uploads/2021/11/manga_nnvs2021.pdf)



犯罪被害者支援教育スマートフォンアプリ  
「こころちゃん」

[https://www.nnvs.org/wp-content/uploads/2021/01/nnvs\\_app.pdf](https://www.nnvs.org/wp-content/uploads/2021/01/nnvs_app.pdf)



## 【大塚さんがよく聞いていた曲】

小田和正「たしかなこと」

ゆず「栄光の架け橋」

当時、はやっていた曲はなかなか聞けなかったそうです。

## 【長野被害者支援センターについて】

長野犯罪被害者支援センターのセンター長である油井さんの「人のために何かしたい」という思いから、国や県の力を借りて、任意団体として設立したそうです。平成15年には法人格を取得し、電話相談・面接による直接的な支援を開始しました。現在、35名の相談員がボランティアとして活動しています。犯罪被害者支援センターは全国に48カ所設置されています。

## 【お話を聞いた参加者からの感想】

後半からは大塚さんのお話を聞いて感想や考えたことを話していただきました。まず被害者遺族の方のお話を直接聞くのが初めてという方が多かったです。また聞く機会があった方も講演会とは全く異なる雰囲気の中、近い距離でお話を聞くことができとても良かったという声がありました。

### ・実際に大塚さんのお話を聞いて

大塚さんのお話を聞いた参加者からは、明日の予定を決められること自体が当たり前ではなく、大切な家族や友人と過ごせる時間があることもかけがえのないものだと感じたという声が聞かれました。また、自分の子どもと息子さんが同世代であることから、子どもが過ごしてきた時間を思うほどに息子さんが生きることのできなかつた時間の重みを強く感じたといいます。

さらに大塚さんの活動については、当たり前だった日常を奪われた中でも、同じような境遇の人の力になりたいという前向きな姿勢が印象に残ったという感想がありました。自分が同じ立場だったらなかなかできないであると尊敬の気持ちを抱いた方もいました。そして「悲しみや悔しさをどのように前向きな力に変えてきたのか」という問いに対し、大塚さんは、事故当時と現在では状況は変化しているものの、時間が経っても悲しみや悔しさは変わらないことを伝えていきたいという思いで活動されているそうです。

### ・犯罪被害者に対してのかかわり方について

犯罪被害者へのかかわり方については、距離を取りすぎず、近づきすぎない、ちょうどよい距離感で寄り添うことが大切であることが印象に残ったという感想がありました。特に「無事でよかったね」といった何気ない言葉でも相手を傷つけてしまうことがあると知り、考えさせられたとありました。また「元気になった？」などと気を遣ってかけたつもり言葉でも受け取る側によっては負担になってしまうことがあると気づき、言葉の重さを感じたといいます。一方で実際に自分の身近に被害者の方がいたときに相手を傷つけずに関わることができるのか分からないが、こうした問題は誰にとっても無関係ではなくみんなで考えていく必要があるという意見がありました。

そして実際に相談員として活動する方も電話の相談で言うてはいけない言葉を言うてしまうことがあり、こういう事を言えば良かったと相談をしていく中で後悔が残ることもあるといいます。しかし相談後、微笑んで帰っていくときは少し助けになれたという思うそうです。なにより普通に生活できなくなってしまった被害にあわれた方をいかに普通に近い状態に生活していただくために相手の方の顔を見ながら相談に乗ることが大切であるそうです。



## ・犯罪被害やその支援について

犯罪被害やその支援について自分ごととして捉え、少しでも理解を深めていくことが大切だと感じたという声がありました。

また、交通事故が犯罪として認識されていない場合が多く社会的な認知が十分でないことは大きな課題としてあります。そしてこれまで支援がほとんど行われていなかった中で民間の任意団体による活動をきっかけとし徐々に国や自治体でも取り組みが進められ、少しずつ形になってきました。こうした活動を広げていくためには、市民一人ひとりがその重要性を理解し、必要性を声に出していくことが大切であるという意見もありました。さらに被害者との接し方や実際の現状については、話を聞いて初めて気づくことも多く、実際に触れる機会がなければ理解するのは難しいのではないかと感じた方もいました。そのため今回のようなイベントの場を今後も増やしていく必要があり、より多くの人に知ってもらいたいという声が寄せられました。

### Topic 02 信濃毎日新聞に掲載されました！

1月25日の信濃毎日新聞で「犯罪被害者の思いに耳傾ける 県立大生ら、東御の大塚さん囲み座談会」と実際に記事になりました。そして本棚オーナーの山下さんが記事を印刷して図書館の入り口に飾っていただきました！  
詳しい記事の内容はそちらをご覧ください。



### Topic 03 3月のイベントについて

3月のイベントは、開学以来初代学長として、8年の長きにわたり、ご尽力くださいました、長野県立大学の金田一真澄学長をお招き、ご講演頂きます！この度、本館オーナーにもなりました。

日時：3月21日(土) 13:10~15:00

場所：長野県立大学 後町キャンパス講堂

スピーカー：金田一真澄学長

テーマ：「祖父・金田一京助、父・春彦を語る」

※今回は事前申込をお願いします。→<https://forms.office.com/r/z4capu3JcG>



### Topic 04 開館時間について

ホームページ



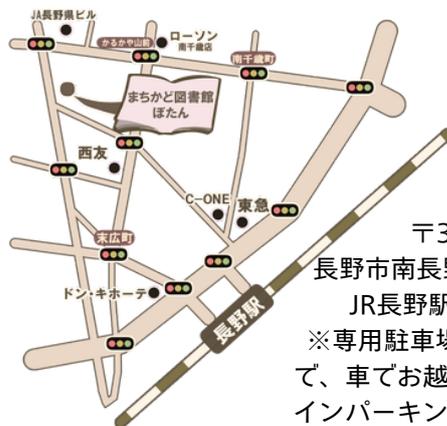
Instagram



開館時間は10時から18時までですが、ゼミ生と教員が店番をしている関係で、その時間内で、可能な時間に開館しております。詳細はホームページまたはInstagramで確認をお願いいたします。

URL:<https://machinakabotan.com/www.machinakabotan.com/>

### Topic 05 アクセス



〒380-0826  
長野市南長野北石堂町1185-6  
JR長野駅から徒歩7分、  
※専用駐車場はございませんので、車でお越しの際はお近くのコインパーキングへのご駐車をお願いいたします。



2026年2月28日発行  
編集：長野県立大学 グローバルマネジメント学部 築山ゼミナール  
住所：〒380-8525 長野市三輪8-49-7 B309研究室  
TEL：026-217-2241 (代表) fax：026-235-0026  
E-mail：tsukiyama.hideo@u-nagano.ac.jp  
主催：中心市街地活性化協議会